

大分県社協

“しゃきょう”ってナ～ニ?!



人と人、人と社会をつなぐお手伝いをしています。

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
URL <http://www.oitakensyakyo.jp>

私たちは

社会福祉法人

大分県社会福祉協議会 です

私たちは、関係機関、団体、地域住民と協力して、それぞれの時代に合った地域福祉の向上に努めてきました。しかし、人口減少、少子高齢化、核家族化が進む大分県では、新たな福祉課題が生じています。

たとえば、地域にはこのような課題が・・・



地域で起こる
さまざまな課題

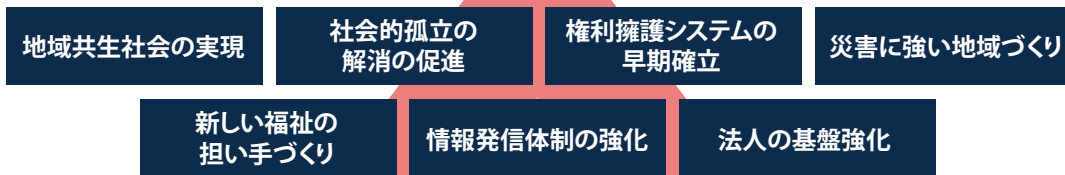
地域にあふれる
さまざまな思い・考え

みんなで協議

実践 ▶
OPEN

強い絆で結ばれた地域社会の構築

7つの重点テーマ



5 横断する
つの取り組み

1. 地域でつなぐ命綱
2. 福祉の窓口
3. 福祉の宅配便
4. 福祉のコンサルティング
5. 大分県社協「総プロフェッショナル計画」

大分県社協の強み
「つながり」

自主性と公共性

信頼と実績

私たちは今後7つの重点テーマを実施し「強い絆で結ばれた地域社会の構築」を目指すことで、つながりの強化をはかります。また、複雑多様化する地域課題に対応するため、7つの重点テーマだけでなく、それらを横断する5つの取り組みを合わせて実践することで、誰もが「安心・安全で尊厳のある自立した暮らし」を実現できるように取り組みます。

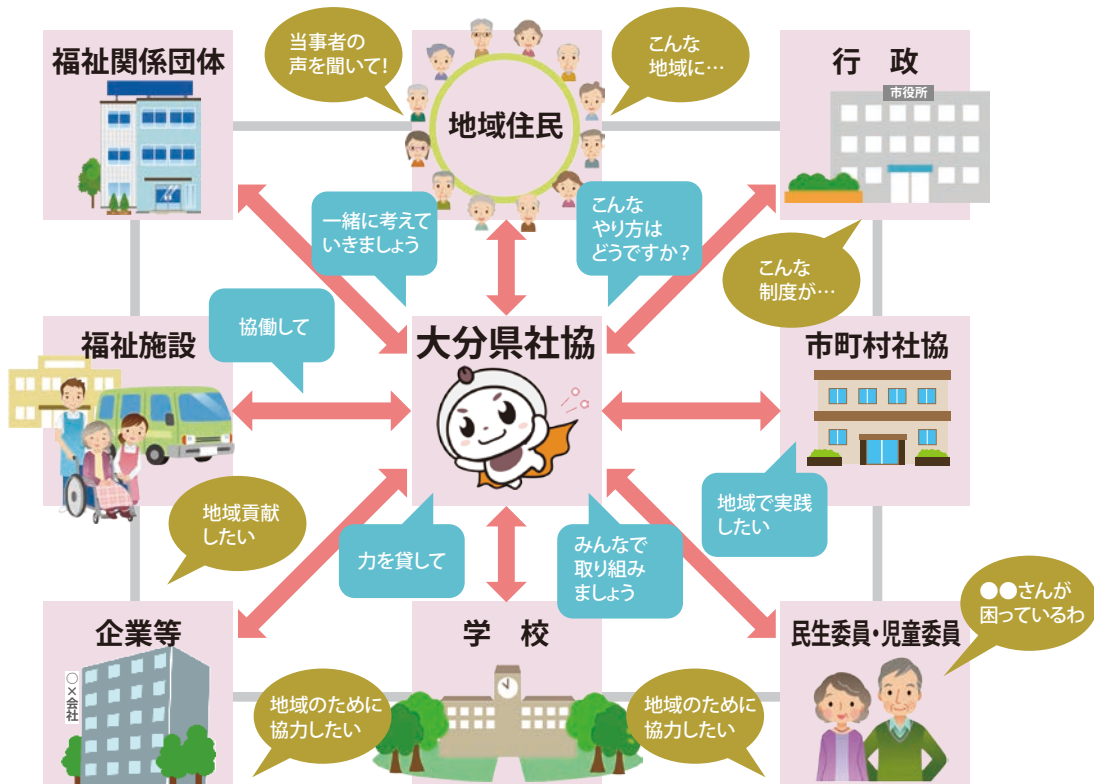
私たち大分県社協は、社会福祉活動を推進することを目的とした非営利の民間組織です。
 昭和26年(1951年)に制定された社会福祉事業法(現在の「社会福祉法」)に基づいて設置されています。

社会のできごと・社協のできごと

| | | |
|------------------------------|------|---------------------------|
| 地域包括ケアシステム強化法が成立・民生委員制度100周年 | H29年 | 九州北部豪雨災害による現地支援 |
| ニッポン一億総活躍プランが発表 | H28年 | フードバンクおおいた設立。熊本地震での現地支援 |
| 東九州自動車道が全線開通 | H27年 | 生活困窮者自立支援制度がスタート |
| 大分県ドクターヘリ運航開始 | H24年 | 九州北部豪雨災害による現地支援 |
| 東日本大震災と大分県地域防災計画の見直し | H23年 | 東日本大震災による現地支援 |
| 郵政解散 | H17年 | 福祉サービス評価センターおおいたを設置 |
| 「宮城県北部地震」発生 | H15年 | 地域福祉振興基金の創設 |
| ビッグアイでFIFAワールドカップが開かれる | H14年 | 大分県長寿いきいきセンターを設置 |
| 介護保険制度がスタート | H12年 | 大分県運営適正化委員会を設置 |
| 平成の大合併がスタート | H11年 | 大分県あんしんサポートセンターを設置 |
| 阪神・淡路大震災発生 | H7年 | 震災への現地支援を開始 |
| 高齢人口14%超(高齢社会) | H6年 | 主任児童委員制度が創設される |
| 九州南部の記録的な集中豪雨 | H5年 | 福祉機器移動展示車を配置 |
| バブル景気の終焉と失われた10年の始まり | H3年 | ふれあいのまちづくり事業開始 |
| 株価の暴落(バブル経済の崩壊) | H2年 | 社会福祉介護研修センターの設置 |
| 天皇即位・平成のスタート | 平成元年 | 全国健康福祉祭(ねんりんピック)おおいた大会を開催 |
| バブル景気のスタート | S61年 | 大分県総合社会福祉会館が完成し入居、管理を開始 |
| 平均寿命、男女とも世界一となる | S58年 | 全国民生委員児童委員(大分大会)を開催 |
| 校内暴力史上最高に | S56年 | 大分県ボランティアセンターを併設 |
| 第1次オイルショック | S48年 | 大分県民生員児童委員協議会を発足 |
| 新大分空港が安岐町にオープン | S46年 | 高齢者無料職業紹介所を併設 |
| 高齢人口7.1%(高齢化社会へ) | S45年 | 大分県老人相談所を併設 |
| 第1次マンションブーム・新千円札(伊藤博文肖像)発行 | S38年 | 福祉活動指導員を設置 |
| 東京の人口1,000万人突破(世界初の1000万都市に) | S37年 | 全国に先駆け善意銀行を創設 |
| 電気洗濯機、電気冷蔵庫、テレビが「三種の神器」と呼ばれる | S30年 | 世帯更正資金貸付制度を開始 |
| 厚生年金法改正公布・50銭以下の小銭廃止 | S29年 | 第1回大分県社会福祉大会を開催 |
| 奄美諸島が日本に返還 | S28年 | 社会福祉法人格を取得 |
| 民生委員信条が制定 | S26年 | 大分県社会福祉協議会設立 |

実践
OPEN

つながるちから・つながるきずな



「強い絆で結ばれた地域社会」を実現するため
大分県社協では「だいふくプラン2018」をつくり実践しています

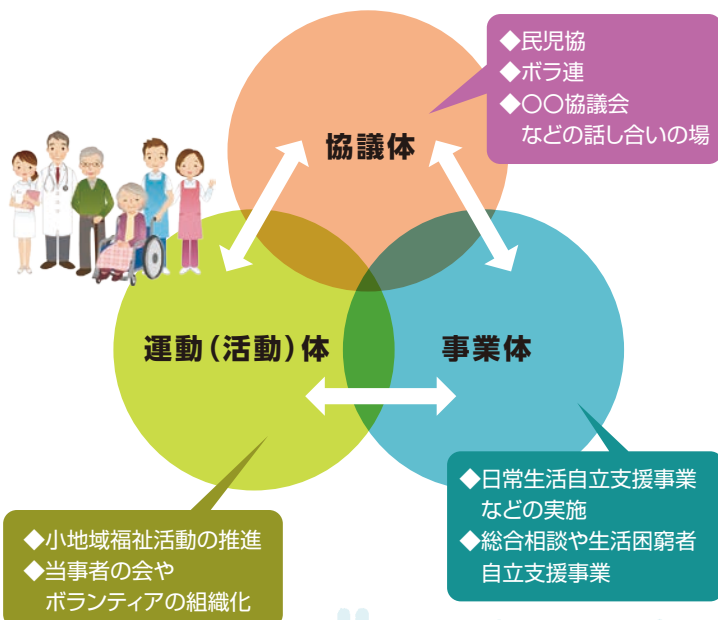
だいふくプラン2018

「7つの重点テーマ」

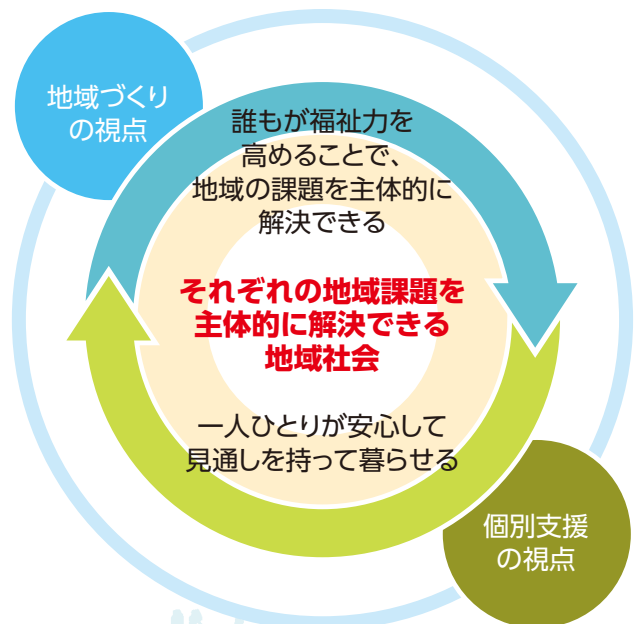


複雑化、多様化する地域ニーズに対応するためには、「つながり」を活用した実践はもちろんのこと、人材育成や権利擁護、災害支援、情報発信など幅広い取り組みが求められます。

私たちは協議体であり、 運動体であり、事業体



私たちの視点



重点 1

地域共生社会の実現



生活スタイルの変化で、複雑化する福祉課題に対し、すべての人が世代や背景を超えてつながり、支えあい、一人ひとりの暮らしと生きがいとともに創り、高めあう社会を実現します。

※ 大分県版福祉ビジョンの確立と推進

福祉関係機関や団体などが包括的な相談支援体制を整備するための支援や、地域福祉を推進するための人材養成・育成、実践研究や種別協議会の運営支援を進めます。

※ 子どもたちの居場所づくり

子育てサロンや子ども食堂など支援者同士が現場ニーズを共有し、活動の不安解消や活性化を図ることができるような取組を行います。

※ 障がい者の社会参加推進

障がい者のスポーツ、文化・芸術活動の推進拠点を目指し、交流の促進及びボランティアの育成・拡大を図ります。

※ 高齢者の社会参加と生きがいづくり

健康寿命の延伸を目指すとともに、充実したセカンドライフを送るため、ボランティア団体やNPOなど地域活動へのマッチングなどを実施します。



重点 2

社会的孤立の 解消の促進



「生活困窮者の自立と尊厳の確保」と「生活困窮者支援を通じた地域づくり」をめざします。

※ 生活困窮者への支援

生活困窮者を支えるために、おおい「くらしサポート」や生活福祉資金の貸付を実施します。



※ フードバンクの拡充

フードバンクに関する理解を広めて、寄贈食品数を増やし、相対的貧困世帯や子ども食堂を支援します。



重点 3

権利擁護システム の早期確立



判断能力が不十分な人が地域で安心して生活できるよう支援します。

※ 判断能力が不十分な方への支援

安心して生活が送れるように、権利擁護体制を充実させ、判断能力がなくなったあとも、尊厳のある暮らしを送れるよう、法人後見事業を推進します。

※ 権利を守るための相談体制の充実

福祉サービスへの苦情に対して、適切に対応できるように、研修会等を開いて支援します。



重点 4

災害に強い 地域づくり



頻発する大規模災害に備え、ネットワークの充実と人材育成に取り組みます。

※ 災害時の支援体制整備

平常時から市町村社協と協力して、災害ボランティアセンターの運営リーダーを養成し、災害時に迅速かつ円滑な運営ができるように備えます。

※ 災害時要配慮者の支援

発災後に、障がい者、高齢者、子どもなど配慮が必要な人々が災害時に安心して避難できるような体制を整えます。



重点 6

情報発信体制の 強化



最新の福祉情報や先進的な福祉活動の取り組みを整理し、わかりやすく発信します。

※ 社協活動のPR

「だいふくん」による広報やホームページ・SNS(Facebook等)を活用し、さまざまな社協活動の情報発信力を強化します。

※ ウェルフェアツーリズムの推進

福祉先進地の受入施設協議会を設置し、海外視察団体の受入体制を充実させます。



重点 5

新しい福祉の 担い手づくり



福祉・介護人材の不足に対応し、人材の養成や介護ロボット等の導入支援を進めます。

※ 福祉人材の確保・定着・育成

キャリアパス研修課程の導入や修学資金による就労支援などにより介護サービス職員の質的向上、働きがいの向上を推進します。

また、地域での新たな福祉ボランティアを養成したり、児童や学生を対象にした福祉の入門講座を充実させます。

※ 健全な施設運営支援

福祉サービス評価センターおおいた事業の積極的な推進や社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と利用者処遇の向上を目的としたセミナーを開催します。

※ 介護ロボットの導入促進

介護者の負担軽減及び利用者に優しいケアを推進するため、ノーリフティングケアの普及による介護ロボットの導入支援を進めます。



重点 7

法人の基盤強化



地域福祉を推進するための土台として、法人の地域福祉推進力を充実させます。

※ 財政の安定化並びに組織体制の強化

自主財源確保などの財政安定化と組織体制の強化、職員研修の実施などによる資質向上を図ります。



あなたの想いを未来のために…

未来の種となるもの。 それが「地域福祉振興基金」[※]です。

私たちは、この素晴らしいふるさと大分を、次の世代にも引き継いでいきたいと考えています。そして未来の大分は、今よりも、もっと温かく、誰もがその人らしく安心して暮らせる県であってほしいと、強く願っています。そんな未来をつくる種は、現在を生きる一人ひとりが握っています。その種に水をまき、芽吹きを促すこと、そして、その芽がしっかりと根をはり、人々に喜びをもたらす花を咲かせるまで寄り添い見守り続けること。それが、私たちの役目です。

私たち大分県社会福祉協議会では、
「地域福祉振興基金」を活用し、地域の福祉課題の解決や地域のつながりづくりを行なっています。

あなたの想いが大分の地域づくりに生かされます

- ◆寄付金控除の対象です
- ◆本会広報紙で協力企業のPRをします
- ◆本会ホームページ、Facebook、Instagramでご紹介させていただきます

県内の企業や団体・個人の皆様から、
「社会貢献をしたいけど、何から始めたらいいかわからない」、「取組みのきっかけがほしい」という相談が寄せられています。

私たちはその善意の声に向き合い、
「こんなことをやってみたい」、「こんな取組みに参加したい」というあたたかい気持ちに寄り添い、応援します。

たとえば…

「もったいない」を「ありがとう」に フードバンクおおいたの運営



15.6%が相対的貧困のなかで暮らしている一方で、食べられるのに廃棄される食品が600万トンを超えています。この二つの問題を結びつけて解決するために平成28年6月に設立しました。

企業・行政の「こんなことやりたい」をコーディネート 買い物困難地区に移動販売車を運行



企業、杵築市、杵築市社協と協力して、杵築市内にある「買い物困難地域」3カ所に、「移動販売車」を走らせる取組みをスタートしました。

作成した「手引き」は県内外から問合せ殺到 子どもたちの居場所づくりの推進



みんなが気軽に集まり、団らんをしながら食事したり、相談しあえたり、談笑したりする「居場所」としての「子ども食堂(地域食堂)」を企業の協力も得ながら推進中です。

この5年間だけでも延べ2,000人以上の派遣調整 災害時の迅速な支援に向けて



熊本地震、九州北部豪雨、台風18号などの大災害が続く中、防災時の対応に向けた人材育成の他、企業の協力を得て災害ボランティアセンターの運営支援、ボラバス運行等、災害対応に尽力しています。

ボランティア活動や企業CSRの振興

災害時だけでなく「地域の支え合い」を担う地域の福祉力向上を目指す各種研修、企業CSR活動に向けた研修も実施。一方で、企業・ボランティアの方とともに、福島県の子どもたちを夏休み大分に招待するプロジェクトなどにも取り組んでいます。

サロン活動の推進

高齢者が生きがいや健康づくりに取り組む気軽な寄り合いの場としての「ふれあいいきいきサロン」をはじめ、子育て中のお母さんたちが集い、情報交換や日頃の悩みを相談しあえる「子育てサロン」の推進にも取り組んでいます。

※大分県社会福祉協議会地域福祉振興基金は、
高齢者等の生きがい・健康づくり、子ども・子育て世帯への支援、地域・在宅福祉やボランティア活動の振興を図るために、平成15年に設置した基金です。

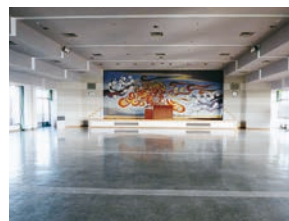
マスコットキャラクター だいふくんファミリー

「だいふく」の由来は、文字どおり『大分の福祉』を、ひらがな表記にして親しみやすくしたものです。日本に親しみのある「大福餅」から、「なじみ深いもの」として覚えてもらうため、また、「大きな“福”(=幸せ)を運ぶ」という意味と、「お餅のように(みんなと地域と)粘り強くつながる」という意味を込めました。



貸会議室あります

大分県総合社会福祉会館内には、福祉関係団体のほか一般の団体を対象に、10人から400人規模の会議・研修会・講演会などができる部屋を貸し出しています。詳しくは、会館受付窓口(TEL:097-558-2945)へお問い合わせください。



あすぴあおおいた 大分県身体障害者福祉センター

- 所在地 〒870-0907
大分市大津町2-1-41
- TEL 097-558-4849
(FAX:097-558-0316)
- 開館時間 9:00～21:00
(日曜日)9:00～17:00
休館日 /月曜日・祝日
- ホームページ <http://www.sc-oita.net>
障がいのある方々の機能回復訓練や教養の向上、社会との交流の促進およびスポーツ、レクリエーション等を総合的に利用でき、誰もが交流できる施設です。

大分県社会福祉介護研修センター

- 所在地 〒870-0161
大分県大分市明野東3丁目4-1
- TEL 097-552-6888
(FAX:097-552-6868)
- 開館時間 8:30～17:00 休館日 月曜日・祝日
- ホームページ <https://www.okk.or.jp>
高齢社会を支える福祉の人づくりを推進するため
1：県民を対象とした介護知識・技術の研修
2：福祉・介護サービス従事者への専門研修
3：福祉人材無料職業紹介所
4：高齢者の生活全般にわたる相談・助言
5：福祉用具や介護ロボットの展示等を行っています。

大分県社会福祉協議会



- ▶大分バス:大分駅6番のりば「大洲運動公園行き」(170円)
大空団地 下車2分
- ▶タクシー:大分駅から約15分(約1,200円)

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会

- 所在地 〒870-0907
大分市大津町2丁目1番41号
大分県総合社会福祉会館内
- TEL 097-558-0300
(FAX:097-558-1635)

